

# フェロシルト

# 瑞浪の放置量10倍

## 可児も2倍、県調査で判明

放射性物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」が、岐阜県内各地で放置

されている問題で、同県の二万トに上ることが同市久々利の現場は三千三百トとみられていたが、

当初、製造元の石原産業は、同所にフェロシルトを放置した名古屋市の

関連の面

男性に販売した量を千トと発表していたが、岐阜県が、実際に搬入を担当

**デジタルカメラ・ゲーム**  
名古屋駅前西店  
052(459)1111

した同県中津川市の建設業者などに聞き取り調査をして実際の量が判明した。このほか、同県可児

倍の六千八百トになることが分かった。

フェロシルトは、昨冬から愛知県瀬戸市、岐阜県可児市などで放置が問題化。岐阜県の調査により、放置現場の一部で、基準値を超える有毒の六価クロムが検出されたため、石原産業が岐阜県内の全量を自主回収することを申し出ている。

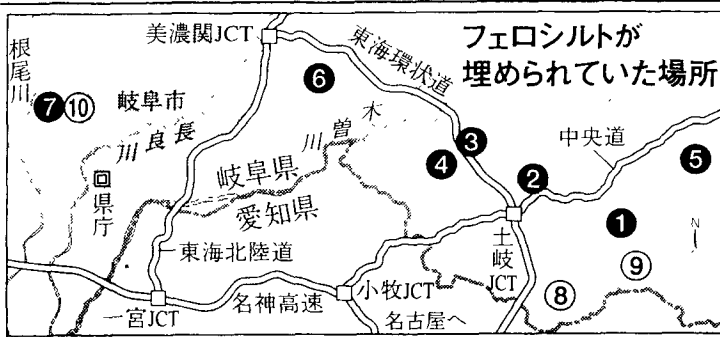
# 県内に3万トン超

## フェロシルト 予想上回る量

放射性物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」が可児市や愛知県瀬戸市に放置され、一部現場の土壌から環境基準を超える六価クロムが検出された問題で、県は十七日、判明分の六カ所に加え、新たに本県市内でも使用されていたと発表した。

このほか、東濃と岐阜地境。県不適正処理対策室は「これで県内のフェロシルトは全部だ」とし、今後の追跡調査だと思おうと

放射線物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」の搬入量は、当初予想された三万トンを上回る見込みとなった。使用されていたのは、本県市早野の農地。使用の疑いがあるのは、土岐市鶴里町、瑞浪市陶(すえ)町、岐阜市と本県市境。県不適正処理対策室は「これで県内のフェロシルトは全部だ」とし、今後の追跡調査だと思おうと



- ① 瑞浪市稲津町
  - ② 土岐市泉町
  - ③ 可児市久々利
  - ④ 可児市大森
  - ⑤ 恵那市三郷町
  - ⑥ 美濃加茂市加茂野町
  - ⑦ 本巣市早野
  - ⑧ 土岐市鶴里町
  - ⑨ 瑞浪市陶町
  - ⑩ 本巣市と岐阜市の境界付近
- 【注】⑧⑨⑩はフェロシルトが埋められた疑いがあるとして調査中



放射性物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」の使用が新たに確認された農地＝本巣市早野で

に同社の担当者は「販売後の指導が徹底されていない。申し訳ない。疑いのある場所も含めてフェロシルトの存在を確認し次第、水質調査、土壌調査をした上で、自主回収に応じたい」と話した。同社は、今週中に撤去

### 農地にフッ素

### 基準値の3倍

フェロシルトの使用が明らかになった本県市早野の農地。同市などによると、岐阜市の建築業者が二〇〇二年二月、砂利採取のために掘った穴の埋め戻しに、約三千四百立方メートルを使用したとみられる。

市は十七日夜、農地付近の約百二十戸に、土壌と近くの井戸二カ所の検査結果を配布。六価クロムと井戸水のフッ素はいずれも基準値以下だったが、土壌のフッ素は基準値の三倍弱だった。市は「作物への影響は懸念されるが、地下水の汚染は今のところ見られない」とするが、引き続き井戸の検査を続け、県の検査結果も待つ構え。

○一年夏に業者の地元説明会に参加した男性(左)は「山土などを埋め戻すとの説明で、フェロシルトを使う話は一切なかった」と不信感をあらわ。近くで富有柿を栽培する主婦(右)は「怖い。関係者は責任ある対応を」と不安げに話した。

一方、フェロシルトが埋まっている疑いが明らかになった瑞浪市陶町。付近の住民によると、元鉄工所の資材置き場約二百平方メートルで、周囲より約二倍低くなっていたため、経営者の引越後埋め立てられ、更地にされたという。

土岐市鶴里町の現場も山林の中にあり、周辺では産廃関連のトラブルが続いている。「近くにあるため池が濁ったままだったので、前から心配していた」と町内会長の長江重昌さん(左)。鶴里町内会長会は十七日夜、「一带は田んぼやため池が多い」として、現場だけでなく付近の水質調査を県や市に要望することを決めた。

(相馬敏、遠藤康訓)